

● 草の根パートナー型

平成19年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	モンゴル国
2. 事業名	ボルガン県ボルガン市第3地区における「母と子のための」地域ぐるみの健康まちづくりプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	モンゴル国の地域保健医療は極めて低い水準にあり、政府の策定した「保健医療マスタープラン」においても地域保健医療は重点医療政策にあげられているものの、予算不足により実際には手つかずの状態である。今回提案のプロジェクトは、ボルガン県ボルガン市第3バグ（地区）の妊産婦を含む住民4,200人に焦点を当てながらエミンツェツェグレン家族病院を拠点として、母親ボランティアヘルスワーカーの養成と組織づくり、看護師の再教育の充実、地域住民に対する健康教育を行うことなど、行政、医療従事者、住民が一体となってプライマリヘルスケアの理念形成や情報の共有を推進して地域に根ざした健康づくりを促進し、地域住民全体の健康づくりへ取り組み意識を向上させるものである。本プロジェクト実施により第3地区をモデル地域として確立することで、将来的には他の近隣地区や村への「地域ぐるみの健康まちづくり活動」が普及し、広域的な地域保健医療の向上が大いに期待されている。
4. 事業の目的	第3地区の住民、ボランティアヘルスワーカー、一次医療機関（エミンツェツェグレン家族病院）の医療スタッフが協働して地域ぐるみで健康づくり（PHC活動）に取り組むことで妊産婦を含む住民の健康状態が向上する。
5. 対象地域	ボルガン県ボルガン市第3地区
6. 受益者層	ボルガン県ボルガン市第3地区の妊産婦を含む住民4,200人ボランティアヘルスワーカー40人（育成する数も含む）ボルガン市内一次（家族病院）および後方支援の二次医療機関（県病院）看護師120名
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象地区母子を中心としたヘルスワーカーの活動システムの強化 2. 関連病院への継続教育と環境の充実を通じた、母子保健を中心とした医療サービスの改善 3. 母子保健手帳の作成とその活用支援 4. 地域が一体となった健康への関心を高めることを通じた、プライマリヘルスケア理念の対象地域住民への普及
8. 実施期間	2008年1月～2010年12月（3年）
9. 事業費総額	50,000千円（予定）
10. 事業の実施体制	当財団代表、ボルガン県知事、保健局、ボルガン県総合病院、第3地区住民代表による運営委員会と担当実務者によるワーキンググループを設け、プロジェクトの適正運営及び定期的なモニタリングを行う。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	財団法人国際看護交流協会
2. 活動内容	開発途上国に対する保健医療・看護の技術協力、人材育成
3. 対象国との関係、協力実績	1995年以降、保健医療協力に関する事前調査活動及び地域保健医療施設に対する医療資機材供与活動を行なった実績を持つ。